

## 特命Report 乗船切符は改善のココロ！ 『第4回全国都市改善改革実践事例発表会』 最前線 ～改船 (KAIZEN)～

### なかの20丸～

3月19日、東京都中野区「なかのZEROホール」を会場に「第4回全国都市改善改革実践事例発表会～改船 (KAIZEN) なかの20丸～」が盛大に開催されました。

この発表会は、全国の各都市で展開されている業務改善・改革実践発表会の集大成の場として開催されているもので、今年で4回目の開催となります。今年の発表会には過去最多の20都市が参加し、東北からも山形市、北上市の両市が発表しました。

その様子を皆さんにご紹介します！



### 二重丸の改善事例への出会い

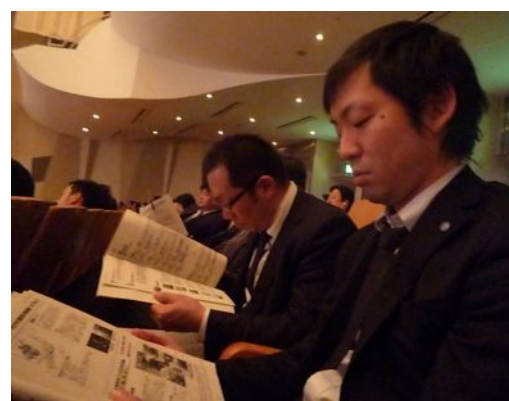
・・・それは更なる改善・改革の大海原への航海のはじまり☆

この大会は、平成18年度の山形市を皮切りに、尼崎市、福井市とバトンが引き継がれ、今回の中野区で4回目の開催となります。年々、参加自治体が増加し、今大会には過去最多の20都市参加され、全国的に改善・改革の機運が高まっていることを物語っています。

今回の大会名は、20自治体それぞれの二重丸の改善事例を持ち寄り、それらが一堂に会する出合いを船旅に例えたものです。

各都市の発表はまさに各都市の「代表」だけあって、創意工夫に満ちた優良改善事例の数々、更にプレゼン手法もそれぞれ味があり、全国大会にふさわしい充実した内容のものでした。

会場には、参加都市の職員のほか、全国各地から多くの来場があり、改善改革の思いが満ち溢れていました。この空間の熱気を感じると、本当に改善改革の取り組みは、今後更に多くの自治体に伝播し、終わりのなき改善・改革の大海原への船出につながっていくものと感じました。



↑発表を聞き入るチーム酒田☆(松永さん・洋輔くん)



### 過去最多の20都市の優良実践事例発表☆

今回発表された各自治体は次のとおりです。(※発表順)

- ①福井市／苦情やクレームのデータベース化
- ②丹波市／丹波は田舎で否か？
- ③尼崎市／イ明～治維ッ新！（イメージ一新）
- ④福山市／手話に親しモウ～
- ⑤八尾市／わかりにくくて、ごめんね、ごめんね～
- ⑥柏原市／突撃!!寝たまま晩御飯
- ⑦貝塚市／危機管理能力を高める
- ⑧有田川町／牛乳パックでリサイクル
- ⑨三重県／福祉機器リサイクルで肢体不自由の子どもたちの生活をサポート
- ⑩名古屋市／熱田土木事務所による市民協働
- ⑪岡崎市／契約事務の効率化と合理化
- ⑫磐田市／担当外でもこなせる窓口業務!!
- ⑬静岡市／コミュニケーション支援ボードの常備
- ⑭川崎市／生活保護世帯の中学3年生の進路を支援しよう!!
- ⑮杉並区／ひつたり被害防止啓発物品
- ⑯所沢市／ひばりぽーと～ひばりちゃんの知トコ！所沢案内～
- ⑰山形市／美術品で文化の香り高く温もりのある街に
- ⑱北上市／おいしい水づくりへの挑戦
- ⑲札幌市／現場から発進!! 本気の連携～違反根絶への挑戦～
- ⑳中野区／伝え愛 響き愛～ほっと一息「ほっとタイム」～

なお、今回発表されたすべての自治体には、事例の改善内容に沿って、様々な賞が授与されました。



↑所沢市／「ひばりぽーと」のプレゼンの一場面



↑尼崎市／「イ明～治維ッ新」のプレゼンの一場面





北上

## おいしい水づくりへの挑戦

北上市上水道課 千葉裕人 さん



↑全国の舞台でも落ち着いたプレゼン☆ さすが北上市:千葉さん

北上市からは、水道水の異臭味対策をテーマとした改善事例を発表されました。これは、異臭味の原因である藻の発生を抑制するため遮光ネットの設置、前塩素の注入、粉末活性炭の注入など、これまでの取組みを継続しつつ、更に新たな改善策をプラスαした取組み内容で、市民の方々においしい水をお届けしたいという職員の思いや経費を抑えるため自主製作するなどの創意工夫が盛り込まれた素晴らしい実践事例です。

なお、北上市には「20丸」快適3つ星「大賞」が授与されました。

山形

## 美術品で文化の香り高く、温もりのある街に

山形市 横倉明史さん・渥美麻衣子さん



↑山形市チームには、「20丸」魅力のまちづくり大賞が授与!!

山形市からは、市所蔵美術品の巡回展示をテーマとした提案が発表されました。これは、絵画・彫刻などの美術品が千点以上所蔵されているものの、展示替えされていない作品も多かったことに着目し、これらの美術品を市庁舎への定期的な展示替えや、中心市街地の施設等において「街かどミニギャラリー」をおこなうなど、山形の文化の豊かさを紹介する機会を創り出し、文化の香り高い、温もりのある街並みにしていこうとする事業です。

美術・音楽・映画が一体となった「アートシティ山形」の誕生に向けて、長期的視点に立って進めていくことになるようです。楽しみです☆  
なお、山形市には「20丸」魅力のまちづくり大賞が授与されました。

## interview

### 改船なかの20丸の裏側☆

中野区保健福祉部 国保運営係長 酒井 直人 さん

みなさん、こんにちは。中野区おもてなし推進委員会の酒井と申します。山形市の後藤さんから寄稿の依頼があり、改船なかの20丸を終えて、実行委員会の裏話を。

遡ること2年前、尼崎市で開かれた第2回を見て、ものすごく感動し、これを中野区でもやれたらなあなんて思ったのですが、ちょうどお酒の席で区長の「改善運動の関東大会でもできたらなあ」なんて一言に、「いっそ全国大会誘致しましょうよ。」って返したのが始まりでした。

翌年、福井市での第3回大会の前夜の飲み会で正式に第4回開催地の立候補をしたのですが、その次の日、いざ舞台裏を覗いてみると、福井市のスタッフの方々は超大変そう……。司会が上手い！（私も司会の片われだったのですが、玉砕・・・）、それにパワーポイント、演出、音楽すべて工夫を凝らしてあり、これ作るのどれぐらいかかったんだろう・・・とか、実際主催者側の立場に立ったとき初めてことの重大さに気づいたわけです。ですから、2009年度は、「仲間」を集めるところから始めました。

まずは、のちに今回の実行委員長になる永見さんを委員会に引き込みました。永見さんは、おもてなし運動開始時の中心メンバーで、しばらく運動から遠ざかっていました。そして、永見さんと、実行委員会のメンバー探し。若手との飲み会を積極的に行い、執拗に「趣味ってなあに?」、「休みの日とか何やってるの?」などと聞きまくり、動画、アニメーション、デザインなどに強い若手をリストアップしていったのでした。結果的に、個性的でまったく統制されていない実行委員会がスタートしました。（笑）

そんな実行委員会を永見委員長は、よくまとめてくれました。若手のやる気をうまく引き出し、一つ一つ演出に関するパーツを製作していききました。そもそも、若手の職員は、そんなに自分の職場では自由な発想で仕事はさせてもらえません。それが、実行委員会に出てくると、600人が参加する大きな大会の運営を任せられるわけです。

大会当日、そこには一人ひとりが主体性をもって、見事に連携する運営がありました。司会も3年目の二人が見事にやりきってくれました。（OMニューズレター8号に登場の宮本志穂氏もその一人。）

おそらく、公務員人生で1回あるかないかの経験を積めたことに、若手の職員からは、喜びと感謝の声がありました。来年またおもてなし推進委員会に参加したいとの声も。

改善運動は、組織風土改革の一つのツールにしか過ぎません。全国大会を運営し、なし遂げたことは小さな営みですが、確実に何人かの職員の心に火を灯しました。

改善は終わりのなき航海のようなもの。さあ、次の港に向けて出発しましょう!!

## interview

山形市 文化振興課 渥美 麻衣子 さん

今回初めて全国都市改善改革実践事例発表会に参加させていただきました。発表も映像も司会もとても素晴らしい、会場にとっても熱気が有り、長時間見ていたはずなのにあっという間に一日が過ぎたような気がします。

私は提案者では無く、提案業務を引き受けた課ということでの参加だったのですが、他の自治体の発表の方々が自分と同年代くらいの方が多くとてもびっくりしました。若手のみなさんが業務改善や意識改革に取り組んでいるのに、自分は日々の業務でいっぱいだったな…と恥ずかしくなりました。懇親会にも参加させていただいたのですが、色々な自治体の方のお話を聞くことが出来て、とても良い刺激を受けつつ、楽しく過ごさせていただきました。今回の経験を今後の業務改善に活かしていきたいと思います。

\*\*\*\*\*



↑中野区役所のある辺りには、將軍綱吉が江戸中の犬を集めた「お囲い」がありました。区役所の前には、犬のブロンズ像が設置されています。酒井（後ろ）、前が永見委員長





**この大会が相乗効果を生み、  
これからもたくさんの改善の芽が出ることを期待して☆**

**中野区役所 住民記録担当 宮本 志穂 さん**

3月19日、「第4回全国都市改善改革実践事例発表会～改船(KAIZEN)なかの20丸～」を開催させていただきました。

私は、中野区の事務局として、「あまがさき☆14」、「18☆ふくい」、そして今回の「なかの20丸」とこれまで3回、この全国大会に関わりましたが、年々参加自治体も増え、発表方法・内容ともに充実していていると感じます。また、このニューズレターで何度かお名前を拝見した事のある方々にも実際にお会いすることができ、大変嬉しく思いました。

今回の大会は、中野区の運動の名称でもある「おもてなし」をコンセプトに開催しました。10月に市内の全国大会実行委員会を立ち上げたとき、最初に行ったのが、コンセプトの共有です。何のため、誰のために開催するのか、どんな大会にしたいのか、を委員全員でじっくり話し合って意識を共有したことが、企画から当日の運営に至るまでいかに重要な基礎となったか、開催してみてもわかりました。

意識の共有の大切さというのは、中野区の中で事務局として3年間改善活動に関わってきた中でも強く感じてきたことです。

全国大会が、なぜ毎回あんなに感動や興奮を生み出すのか、それはやはりポジティブな考えや良い仕事をしていきたいという熱い思いと希望を持った仲間達が一堂に集い、語り合い、意識を共有できるからだと思っています。

私自身事務局として悩むこともありましたが、この大会で生き生きと改善活動に取り組んでいる方々と知り合い、大変勇気づけられました。今回参加した方々にも同じ気持ちになっていただけたとしたら、とても嬉しく思います。

「優秀な改善事例の享受」と「改善することへの勇気」両方を得られることが、この大会の醍醐味だと思います。これらが相乗効果を生み、これからも全国各地の自治体でたくさんの改善の芽が出ることを期待しています。



※異動しました。  
住民にとっての役所の「顔」として  
頑張ります！

## The☆懇親会

**"KAIZEN"をキーワードに ネットワークは更に広がっていく！**

各都市における改善改革実践事例発表会の余韻に浸る間もなく、会場を中野サンプラザに移し、懇親会がおこなわれました。会場には発表自治体はじめ多くの自治体職員が集い、改革・改善の熱いトークが各テーブルで繰り広げられておりました。きっと、この場からまた更に改善改革のネットワークが広がったと思います。

この熱気の渦の中に、松永さんを中心としたOMメンバーも果敢に飛び込んでいましたよ☆☆☆



東北を代表するイケメン衆☆松永さんもいい顔してますね↑



↑関西学院大学の石原教授☆いつもの石原節、炸裂〜!!



←あれっ？  
奥ちゃん？？  
ホンモノ？？？  
(実は  
高崎市の  
松田さん☆)  
よう似てるわ…



↑2次会の楽しい様子です☆  
但し、編集部としては菊池さんの右手が気になる…





酒田市 農政課  
佐藤 洋輔 さん

おいらの  
コメント！

OMの皆さんこんにちは！！

酒田市農政課 佐藤洋輔です。メールでは一度参加させていただきましたが、OMの活動としては、初めて、3月19日の「なかの改船20丸」及び20日の「風のたより」に参加させていただきました。

その節は、初めてお会いしたにも関わらず、鈴木さん(栗原市)、菊池さん(北上市)をはじめOMメンバーの皆さん大変

お世話になりました。また、後藤さん大変お疲れ様でした。この場をお借りしてお礼と、ねぎらいの言葉をのべさせていただきたいと思います。

さて、私の担当は「なかの改船20丸」の感想ということで述べさせていただきます。自治体における改善事例の全国大会ということで、事例もすばらしく心打たれるもの(涙もの)が多々ありました。組織に属しては出会えない、新しい自治体の現場がそこにありました。そして、審査員の元吉さんが講評で言われた今後の改善を続けていくことへの要点。

- ・困っている人や、悩んでいる人を見過ごさず、問題点として感じること。
- ・そして、どうにかできないか考えること。
- ・考えたことを実践してみること。
- ・ひとりでは難しいので、助け合うこと。(職員、市民等)
- ・もしひとつ改善ができれば、そこで終わりではなく、今後の課題を見つけ次の改善につなげること。

・そして最後に、取り組みを電波していく仕組みを作っていくこと(みんなに伝えること。)……。これは、改善活動のみならず、行政運営の基礎となる部分ではないかと感じたところです。私自身、水道部に在職していた際に、評価システム構築の企画、立ち上げをしたことがあり、新しい事に挑戦することは容易ではないということを実感しております。特に、『ひとりでは難しいので、助け合うこと。(職員、市民等)』

この部分は本当に難しい！！

OMの活動が、この部分を補完できるような活動になることをお祈りしながら、感想とさせていただきます。

なお、最後に担当職種柄OMさせていただきます。

「色よし、味よし、食感よし」三拍子揃った、山形県産新品種「つや姫」平成22年本格デビューです！！

どうぞ、「はえぬき」共々、よろしくお願いいたしますm(\_ \_)m

北上市上下水道部  
営業課 宮崎 詩織 さん

わがまち北上市で毎年開催されているピンポンパン祭ですら一部分しか見たことのない私ですが「なかの20丸」を拝見しての感想を編集長の半強制的な依頼のため(笑)恐縮ながら述べてさせていただきます。

「なかの20丸」は真面目なちゃんとした大会だなと思ったのが正直なところです。

せっかく仕事や改善を自ら楽しんでいるなら「カタイ役所」のイメージを払拭するくらいの勢いで、もっとその楽しさを伝えていってもいいのかなと思いました。そして全国大会に参加しての1番の発見は「一期一会」でした。

普通に生活していたんじゃ絶対に会うことのない全国の自治体職員の皆様にお会いでき、お話しでき、繋がりができたことが何よりの糧となりました。

業務改善の全国大会は、お互いの魅力を引き出し合い、向上心をさらに高められるところだと知りました。

熱い志を持った皆様にお会いして改めてそう感じた「なかの20丸」でした。



## epilogue

### “困難を乗り越える力” = 改善力☆

「なかの改船20丸」の最後に審査員の方より講評として、次のようなお話がありましたので、今回の特集の締めくくりとしてご紹介します。

企業を変える変革と、行政を変えていくということの違いが今日の発表で分かったような気がします。それは、企業は利益追求のために付加価値を高める改善が多くあります。それに比べて行政の改善は、自分が手柄を挙げたくて始めるのではなく、困っている人を助けたい！という思いから生まれてくるのではないかと感じました。

**困難を乗り越える力というのが「改善力」なのではないか**と強く思います。解決策があるから乗り越えようと思うのではなくて、一緒に乗り越えてくれる人がいる、ただそれだけで乗り越える力が生まれてくる。最初からうまくできると思わなくても、困難に出会っている人に寄り添い、一緒に考えていこう！と言ってくれる存在が行政職員であり、その使命感が行政の改善力の根源ではないでしょうか。何か困りごとがある時に、そのことをよく見てみる、触れてみる、感じてみる、声を聴いてみる、五感で感じる心があれば、その困難を放っておけなくなって、そこから改善の一步が始まるのだと思います。

困難を乗り越える力ってなんだろうと考えた時に、1番目はこの**感じる力**なのではないかと思っています。だから、まず感じる心を忘れないでほしい。解決できるか分からなくても寄り添ってみてほしい。

そして2番目は、そこから**考える力**。どうしたら解決できるだろうということ、それぞれの業務分野の中で調べてみたり、スキルを磨いたり、解決に導くための専門性を高めることです。そして、次は**やってみる勇気**！うまくいか最初は分からなくても、やってみることで意外とやれることが見えたり、逆にやれないことが見えるということも非常に大事なことです。そして次は、**助け合うこと**。市民との協力関係、職員同士の協力関係があると、1人ではできなかったことが、これまでよりも少しはできるようになります。結構やれるようになれば、もう少しやってみよう、最後までやり遂げよう！という気持ちにつながり、そして困難の解決につながっていくのだと思います。

困った人が行政を頼ってきて、その困りごとに対して、今までのやり方を変えてやってみて良かったなあと思えば、自分自身に自信や誇りが生まれます。そして、もっとやってみよう！という思いにつながり、**その連鎖が組織の改善力**として大きくなっていくのではないかと思います。

ただ、今日の発表を見ると、発表内容が「改善ができて良かった！」で終わっているものが多かった気がします。ここから「次はこんなことにチャレンジしてみたい！」というような今後の課題も見つけて終わってほしい。そうすると、もっとやらなくちゃ！ということにつながっていくのではないのでしょうか。

今後の課題の見つけ方には2つ。いかにそれを**伝播**するか。自分たちがおこなった改善をまずは**身近な隣の職員、隣の部署に伝播していくこと**。更に**地域の市民に広げていくこと**で課題を見つけられるのではないのでしょうか。

これまで4回の大会の中で生まれた改善のプロセスをナレッジ化して、それをストックして伝播させていくという形も模索してみてもどうでしょうか。そういう意味では、全国の自治体にいかに伝播させていくことができるかがこの大会の今後の課題になってきたのではないかと感じます。

最後に、これから更に組織の中で改善を広げていくための重要なポイントは上司です。自分たちがなぜやれたのか、もっとやり続けるにはどうしたらいいのか。更にもっともっと職場に広げていくためには一部の職員だけの力だけでは限界があります。ぜひ今回、発表された皆さんは職場に帰ったら、上司を表彰してほしいと思います。やり方は色々あると思いますが、うまく上司にも伝播してほしいと思います。そして改善のやり方自体を更に改善して、改善を持続し続けられるために仕組化したり、システム化したりして、伝播する力を大きくしていくしてほしい。そのことでより改善の仕方がうまくなり、より広がりやすくなって、全体的な市民サービスの向上につながっていくのではないのでしょうか。



# 特命Report

## 最前線

# 全国各地で吹く、地域づくりの“風” 風のたより 2010 in Tokyo

## 風のたより



in TOKYO  
2010

【日時】平成22年3月20日(土)12時30分～  
【会場】慶應大学三田キャンパス 南館  
【参加費】風のないより発行費 1000円(税込)  
【申込】風のないより発行費 1000円(税込) 申込先 慶應大学三田キャンパス 南館 3F 303号室  
【お問い合わせ】1000円 申込先 慶應大学三田キャンパス 南館 3F 303号室

3月20日、慶應大学三田キャンパスを会場に『風のたより2010』が盛大に開催されました。  
このイベントは、全国各地で展開されている「地域を元気にする」取組を互いに紹介し合い、活動内容やその取組む思いなどを共有し、そこからまた新たな“気づき”が生まれることを目的として開催されたもので、全国各地から100名を超える参加者が集いました。  
発表団体は、北海道から九州まで9団体。地域の魅力発信・起業サポート・自主勉強活動などバラエティに富んだ内容で、わがOMの活動内容についても紹介しました。

## 9団体による地域づくりの「風」を感じました!!

### ①NPO法人札幌ビズカフェ【北海道ブロック】

ベンチャー経営者等の有志が、情報交流の場を作ることを目的としたカフェ

### ②東北まちづくりオフサイトミーティング【東北ブロック】

“敷居は低く、されど志を高く”をモットーに、地域活性化に向けた人財育成を目指し自主的に集まった東北の輪というべき異業種間勉強グループ

### ③Non-Purpose～首都圏のWA【関東ブロック(中国ブロック)】

「オープンな交流」「気づき・学び」「新たな仲間・活動づくり」の3つの場づくりを目的に毎月セミナー、体験、まちあるきを行っているコミュニティ

### ④K33ネットワーク【関東ブロック】

神奈川県内の自治体若手職員を中心に、ネットワークの構築・政策情報の共有化・スキルアップなどを通して、地方行政の発展を目指して活動している自主研究グループ

### ⑤恵那「心の合併」プロジェクト【中部ブロック】

市町村合併から5年、地域を結ぶ人と人との交流がある“心の合併”を進めるため、映画製作によるネットワークづくりプロジェクト

### ⑥チョウチョの会【関西ブロック】

オフサイトミーティング、フィールドワークなどを通して「気づき」による自己変革の輪を広げ、内発的な自治体改革を目指し活動する滋賀県内自治体職員によるネットワーク

### ⑦Home Island Project【四国ブロック】

四国への同じ想いをもちた仲間が出会い、アート、環境、ビジネス、農業、文化など、様々な切り口で、「四国」を応援し・発信し・楽しむためのプロジェクト

### ⑧ばうむ合同会社【四国ブロック】

本山町商工会青年部有志が、豊富な森林資源を活用し、木工製品の販売など、地域の活性化や雇用の創出を目指してこうと結成した組織

### ⑨Mf net【九州ブロック】

宮崎県内の公務員が、自らのスキルアップと行政マンとしての志を持つことを共通認識として勉強会を立ち上げ、中山間地域の活性化・廃校活用策研究などを行う自主活動グループ



↑ やっぱりオープニングを飾るのは われらが後藤



↑ 恵那市で展開されている“心の合併”プロジェクトの紹介

## interview

## 「風のたより 2010 in Tokyo」に参加して

山形市 生活福祉課 大場 俊幸 さん



去る3月20日、東京の慶應義塾大学で開かれた「『風のたより』in TOKYO 2010」に参加し、OMの活動内容を報告してまいりました。

このシンポジウムは、日本各地で地域活性化に取り組んでいるグループ(『風』)が一同に集まり、それぞれの取り組みを共有し、お互いに高めあっていくという趣旨のイベントです。

当日は、北海道から九州まで、全国9つのグループが参加し、各チームからのプレゼンテーションと地域活性化を考えるグループワークが行われました。私たちOMは「東北ブロック」としてエントリーし、コメンテーターの方からHP、ML、SNSなどITを駆使した情報共有・情報発信ツールについて、高い評価を受けました。

参加チームは、OMと同じような自治体職員中心の自主勉強グループをはじめ、NPO、合同会社など、地域を元気にしたいと志す多種多様な構成ですが、同じ志のもとで異なる活動をしているグループと比較し、自分達の活動を客観的に見ることができたことで、多くの気づきがありました。

自主勉強グループ一つとて見ても、それぞれカラーが違います。専門性に特化するためメンバーを自治体職員に限定しているグループや、メンバーも活動内容も自由度が高いグループ、官民協同の町おこしグループなど、それぞれ設立趣旨やコンセプトが異なるため、似て非なる部分も多くありました。

もちろん、OMを含め全てのグループが、「地域を元気にする!」という大きな目標を掲げるのは共通ですが、「そのために自分達は何をするのか! 何ができるのか! ?」という活動趣旨の違いが、具体的な行動に影響しているのだと思います。

そして、この活動趣旨は、アウトカム(成果)の考え方にも大きく影響します。

「地域を元気にする」ための方法は一つではなく、それぞれの個人や団体に役割や意義があります。私達OMは、現在、「会社」でも「公益法人」でも「NPO」でもありません。本業を持つ個人の私的な集まり(オフサイトミーティング)に過ぎません。そして、その本業のほとんどが、まちづくりでお金をもらっている人(プロ)です。

したがって、私は、OMの一番のアウトカムは、(指標化は難しいですが)それぞれの本業へのフィードバックであると思います。つまり、自己啓発→自己満足に終わるだけでなく、自己満足→他人満足につなげることが、私たちOMの社会的意義(公益)であると考えます。





↑ OMの活動を堂々と紹介してくれた大場くん☆カッコ良かったですよ♪

ただ、論理構成はこうであれ、人は頭で考えたとおりになかなか動けません。また、それぞれの個人の状況に応じた段階(温度差)も当然あるため、活動の継続は頓挫しがちです。

そこで、OMのコンセプト「志は高く、されど敷居は低く」が意味を持つのだと思います。ゆるやかなつながりの中で、学びを通じ達成感や充実感を感じ、人との交流を楽しみながら継続することが重要なのではないのでしょうか。プレゼンの最後で使った言葉ですが、「One Inspires Many」(バンクーバーパラリンピックのテーマです)。小さな「One」が「Inspire」しあうことで、将来予測できないような大きな変化をもたらすという意味です。今、私たち個人が変わることで、東北を元気にしていきましょう！

## epilogue

“風”はさらに強く、強く全国に吹きぬけていく☆



### お金を払ってでも行きたい☆そう思ってもらえる勉強会を意識して！

なぜ、勉強会をおこなうのか。その目的が気づきや学びだとすれば、自分たちの職場や活動に活かされ、変えることができるかが成果指標となるだろうし、更に気づきや学びを超えて、具体的にどう活動していくべきかという点を突き詰めていくとすれば、客観的な成果指標を持つべき。活動を通して雇用が生まれた、売り上げが伸びたとか具体的な数値に落とせるような効果指標を持つことが重要。

また、お金の感覚を持ってほしい。これは儲けることではなく、このような勉強会を開催するときに、ただ(無料)だから行くというのと、お金を払ってでも行くというのでは全然変わってきます。お金を払ってでも行きたいと思ってもらえるような勉強会や活動を意識することが大切。それが主催者側の成長を促す一つの要素になりうるものだから。

最後に、各コメンテータの方々から、これからの活動に対する激励やこれからの活動に対する提言をいただきましたので、締めくくりとしてご紹介します。(ちょっと大ざっぱです。。。)

### ワークライフコミュニティバランス

ワークライフバランスという言葉があるが、私はワークライフコミュニティバランスという言葉を広めたい。仕事と家庭と、もう一つは社会活動。人口が益々減少する中で、コミュニティによって日本の活力、パワー、エネルギーというものが持ち上がってくるのではないかな。

コミュニティや活動の機能を考えたとき、居場所づくりという観点、ネットワークを築いていくという観点、そして社会活動自体が課題解決につながっていくと観点、この3つの観点の割合などを含めて考えていくと、次のステップとしての活動のミッション、優先順位づけなどの議論も生まれてくるのではないかな。

最後に、今日のプレゼンはどちらかというと、よそ向きのきれいな部分の話だと思うが、実際は運営していく中で、スタッフのコミットメントもばらばらだったり課題もあると思う。そこは地道に粘り強くおこなっていくことが大事だと思う。活動の初期段階では、いかにコミットメントを上げていくかという点が、具体的なオペレーションにおける重要なポイント。人間心理としてお金と時間を使うことで、そこに愛着が湧いてくるもの。ですから、勉強会や飲み会など、お金を使いながら時間や思い出を共有し、愛着を増加させていくことが、スタート時は大事ではないかな。

### 活動をもっと発信していくべき☆そこから新たなつながりが生まれる！

つながり、コミュニティということを考えたときに、同質性のメンバーが集まって、専門性やスキルをより高めていこうとするのか、それとも異質(異業種)のメンバーが集まって深めていこうとするのか。最終的な成果も含めて何を目指していくのかを確認しながら進めていく中で、活動の成果指標的なものも見えてくるだろうし、自分たちなりに指標を設定してみてもいいんじゃないかな。

そして皆さんの活動をもっともっと発信していくべき。皆さんの活動を伝えていくことで、新たなつながりが生まれるのではないかな。

### ネットワークから“ワーキングネット”への展開☆

これからのキーワードは「ネットワークからワーキングネットへ」

つながったネットワークをどう活かすのか。今日、つながったネットワークをどのようにワーキングネットに変えていくのかということが今後、求められてくるのではないかな。

今日のイベントを迎えるにあたって地域も行政も「地域を良くしたい！」という思いは共有できているが、噛み合っていない点があると思っていることについてコメントを求められたけど、じゃ、あなたはどうしたいの？と逆に問いかけたい。

自分1人だったら何ができるのか、何をやるのかということを常に自分に問いかけていくことが必要。人は1人では生きていけないのも事実、だけれども1人で生きていかなければならないのも事実。ですから、発表したそれぞれのチーム、それをつなぐネットワーク、そして個人のあり方をきちんと考えていかなければならない。そういう点を見直すいい機会だったと感じる。



# The☆懇親会

## "KANPAI"を キーワードに ネットワークは 広がっていく！

特集 風のたより2010



↑ 今月号の松永さんの表情は柔らかい！（いじれない…）  
大仕事を終え、充実感が漂う後藤さん☆



↑ 杉田さん(♀)を囲んで1枚☆



↑ No.4以来の登場☆  
八王子市の柳沢氏！（相変わらず素敵です☆）



↑ 大場くんはいつもクールっすね♪ なんとなくかわいく見える後藤さん☆



Mf netの  
川崎さん&崎田さん☆  
（堂々たるNLデビュー♪）

ナイスキャラ☆↑  
日野市の鈴木さん☆☆☆



今月号では、かなり露出度の高い松永さん☆まさか次の日、飛行機が…↑



# 特命Report

## 番外編

4月10日(土)、山形市内の某会場にて、山形県内のOMメンバーを中心とした有志メンバーが集いました。

というのは、今回ご紹介した「風のたより」の開催にあたり、準備から当日の運営まで新婚生活を犠牲(?)にしてまで尽力された後藤さんとOM活動についてプレゼンしていただいた大場くん(代表?)の「ご苦勞め会」という「名目」で開催したところです。

会には11名が参加し、発起人である松永さんの挨拶から、本間ちゃん(長老)の乾杯で肅々(笑)とスタート☆

ホント、お二人とも大変お疲れ様でした！



↑ 後藤さん☆大場くんを囲む愉快的な仲間たち！(なお、左端の方が本間ちゃん(長老)です。参考までに☆)



↑ 渡会&奥ちゃんワールドに包まれる面々。終始笑っぱなし☆



↑ 久々の渡会&奥ちゃんのコラボ☆ 後藤さんもタジタジ。。。？



↑ クールに「バインサイダー」を飲む大場くんと、ちょっと休憩中？の加藤くん☆  
(決して和美ちゃんを冷ややかに見ているわけではありません(笑))



↑ 以前に増して、綺麗になった和美ちゃん☆(さては・・・！)  
しかし、和美ワールドは健在☆ それを物語る蛸井さん☆



↑ 編集部の記憶が正しければ、40歳4日前の松永さん♪  
そんな松永さんを見つめる渡会さん☆



↑ 高校〜大学と同じ道を歩んできたお二人。同級生なんですよ！マジで☆  
奥ちゃん、目がキラキラしすぎ☆(とっても仲良しのお二人です♪)



## OMの素材

OMの“素”である会員皆さんの自己紹介コーナーです。  
素晴らしいOMの素材が調和したとき、どのようなハーモニーが奏でられるのでしょうか。

No120 五十嵐 健裕  
Takehiro Igarashi

◆所属 山形県商工観光部  
産業政策課付  
(H22.4月～宮城県  
農林水産部食産業  
振興課)

◆経歴 昭和58年 保育園の送  
り迎えに聞いた落語が好きになる。

昭和60年 将棋を覚える。

平成元年 運動が不得意だったが迷ったあげく陸上部入部。

平成7年 箱根駅伝に憧れ上京。翌年、夢は甘くないことを痛感し挫折。

平成9年 泳げないのにトライアスロンを始める。

平成10年「坂の上の雲」の秋山真之に憧れ、海上自衛隊幹部候補生を受験。

平成11年 山形県庁入庁。庄内保健所⇒教育庁総務課(予算係)⇒  
商業経済交流課(まちづくり商業担当)⇒宮城県新産業振  
興課(自動車産業振興班)

◆趣味 ランニング、落語(弟子入り希望中)、  
将棋(酒田市出身のプロ棋士阿部健治郎4段(20)が小学生の  
頃に対戦しボロ負けしました…)

◆特技 獅子舞(笛・太鼓・鉦。舞方は練習中)

◆好きな食べ物 茶碗むし、カラトリモのみそ汁、吹浦の岩ガキ、液体  
状の米

◆好きな作家 6代目三遊亭圓生(故人)、桂米朝、柳家喬太郎、徒然  
亭草若(渡瀬恒彦)

■大学時代、自転車で東京から3日かけて酒田に帰り、疲労困憊の中  
で眼前に現れた鳥海山、庄内平野、最上川の美しさに改めて感動し、  
地元に戻ることを決意しました。2人の子供にも田舎の素晴らしさを精  
一杯伝えたいと思います。東北OMでは、たくさんの方の考えに触れたり、  
議論を通じて、複眼的な見方や情報分析力を身につけたいと思っ  
ています。

目標は「仕事さえあれば最高の所だよ～」と言われる地元を、どん  
な産業の振興でもいいので、メシが食える(生活できる)地域にすること  
です。どうぞよろしくお願いします。

新入会員  
つ〜かまえた！

株地域計画連合  
堀 崇樹さん

Takaki Hori



「風のたより2010」への参加  
がきっかけでOMに加えていた  
だきました堀崇樹と申します。  
後藤さんの高校の2つ下の  
後輩です。  
簡単に自己紹介をさせてい  
たします。

所属は株式会社地域計画  
連合(研究員)、兼日本大学文理学部人文科学研究所(研究員)  
です。前者はまちづくりのコンサルタントで、私は主に自治体の福祉  
系計画策定支援などの業務に携わっております。専門分野は地域  
福祉、介護福祉です。

風のたより2010では、OMのみなさんのまちづくりに対する熱い気持  
ちに触れさせていただき、心躍る気持ちでした。私の仕事のフィー  
ルドは東京圏に限られてはいますが、気持ちは東北！に向けて勉強し  
ているつもりです。これを機にどうぞご指導いただきますようお願いし  
ます。

地元は山形県の大江町で、プライベートでまちづくりの端っこに関  
わらせていただいております。昨年度花火大会のホームページを作  
成し、マイタウンマップコンクールの奨励賞をいただきました。福祉へ  
のこだわりはもちろんです、広く地域振興、地域経営について  
も学んでいきたいと思っております。

風のたより2010では、活動の発表ということも話題に上がりました  
ね。私事ではありますが、今年の3月に「常識力を問い直す24の視  
点：時代をとらえる手がかりを得るために」という本を共編にて発刊い  
たしました。

OMにはこれだけの人材がそろっているのですから、ぜひ学習や活  
動の成果を広く社会に発信されるような活動を期待しております。私  
でお力になれることがありましたら、ぜひ協力させてください。

応援とともに、みなさんから多くの刺激と学びが得られることを心か  
ら楽しみにしております。どうぞよろしくお願いします。

(2010/3/26:MLより)

次予  
告回 第2回★  
OM勉強会

まず会ってみませんか？  
結構ゆかいな奴らです☆

純粋に勉強会は自分を高める場と  
して有意義な空間です。でも一番は、  
「またあのひとと会いたい！語りたい！  
飲みたい！」という思い。  
勉強会に対する思い  
は人それぞれだと  
思うけど、自分は会  
いたい人たちがそこ  
にいるから会いに行  
きます。  
もしも新たな出  
会いからネット  
ワークがまた広が  
ることも楽しみです。  
そんな場ですか  
らぜひ気軽に参加  
してみてください☆  
ニューズレターに登  
場してきた生の人  
物がいつばいて、下  
手な動物園よりもか  
なり楽しい！

今回のテーマはズバリ  
「地域活性化☆」っす！

今回の勉強会は「地域の活性化」  
をテーマとして、平成二十一年度  
地域づくり総務大臣表彰を受賞し  
た山形県川西町の「NPO法人き  
らりよししまネットワーク」の高  
橋由事務局長をお招きし、同法人  
のユニークな活動を通して、皆さん  
とコミュニケーションによる地域活性化を  
考える機会にしたいと思っております。  
同法人は山形県川西町で多様な協  
働による支えあいの地域づくりを  
行うNPO法人です。  
山形県置賜地域の地域づくり  
トップリーダーを目指し、地域住  
民が中心となり、自律型の地域再  
生に挑んでいる同法人の活動を紹  
介していただくほか、OMメンバー  
による「風のたより」や「西山形の  
酒を造る会」の活動報告なども予  
定しております。また参加された  
ことのないメンバーの方も是非  
非に参加ください。

日時:2010年5月15日(土)  
14:00~17:00

会場:仙台市泉中央市民センター